



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

国際ロータリー第2750地区

創立2004年12月8日

東京六本木ロータリークラブ

ロータリー100年:未来への架橋

ロータリーを祝おう
——100年の歩み

WEEKLY REPORT

2005. 2. 28

No. 12

イニシエーションスピーチ

——入会させていただいて——

小 西 恭 子



ロータリークラブの名称を初めて耳にしたのは小学生の頃、実家の父がメンバーになった時だと思います。しかしまもなく公の仕事が増え、例会に出席できなくなり退会しました。

私は昨年、西も東もわからないまま入会させていただいてしまいましたが、大変有難い事に、メンバーの皆様からはいつも親しく笑顔をいただくことが出来て、ほっとしております。

そして、このクラブを立ち上げ、チャーターナイトを成功に導いてくださった先輩ロータリアンの皆様、そこはかたないゆとりとご配慮の行き届いた実行力で活動するのを目の当たりにする機会に恵まれましたことは、とても幸運でした。教えていただいたように、まず出席し、そこで頂いた元気を一週間を通してまわりに分かち合えればと思います。皆様に、そして入会の労をおとり下さいました方々に改めてここで感謝申し上げます。これからもよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

本日のプログラム

イニシエーションスピーチ

片 岡 雅 敦
松 木 隆 央
松 島 正 之

次回のプログラム

平成17年3月7日

イニシエーションスピーチ

森 佳 子
中 島 信 二
西 村 信 勝



イニシエーションスピーチ

— 日本の農業への思い —

荻田 吉夫



日本の将来を考えると、今私は日本の農業の将来が気になっています。戦後の農業は政府の手厚い保護政策にもかかわらず衰退を続けており、先の見えない状態です。国際化の流れの中で農業を維持することを重荷と考え、食糧は外国から輸入すればよいと考える人も出てきています。

しかし、農耕民族の日本人にとって農業、特に稲作は太古の時代から心のよりどころでした。

皇室の伝統的宮中祭祀には五穀豊穡を祈り、感謝するものが多く、天皇陛下は儀式として毎年宮中で稲作を丹念に行っておられることにも日本人と農業の深い関係が良く示されています。

何とか英知を結集して、将来性のある農業を再構築したいものだと思います。そして地方を訪れれば何時でもみずみずしい稲穂の波を見ることのできる日本であってほしいと願っています。

ニコニコBOX報告

浅田 豊久さん 明日開催されるシカゴロータリー
(東京西RC)

クラブ百周年記念例会に出席して
きます。

小竹 直隆さん 先週は久しぶりの風邪で大切な例
会を欠席しました。これからは精
勤に努めます。

松本 智さん イニシエーションスピーチの日で
す。宜しく！

齋藤 明子さん インフルエンザが流行ってます。
皆様お身体を大切に！

小西 恭子さん ニコニコ会へ。

杉本 潤さん 確定申告書を作成して気が付きま
した。遅れて申し訳ありません。

安井 悦子さん お誕生日月、でした。

荻田 吉夫さん 自己紹介のスピーチをさせていた
だく記念に。

安間百合子さん ロータリーの100周年を祝して。

山中 祥弘さん お陰様で、2月11日創業80年を迎
えました。なお、メイ・ウシヤマ
元気で94才となりました。感謝。

東京六本木ロータリークラブ

会 長 小竹直隆 幹 事 小島 篤

会報・広報
委 員 長 安井悦子

会報・広報
副委員長 渡辺美智子

〈事務局〉〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL 4333-8773 FAX 4333-8774

〈例 会〉毎週月曜日 午後12:30～13:30

〈例会場〉グランドハイアット東京